

大学の世界展開力強化事業 構想概要 岡山大学

【構想の名称】(タイプA-I)

東アジアの共通善を実現する深い教養に裏打ちされた中核的人材育成プログラム

【構想の概要】

岡山大学、吉林大学、成均館大学校が、アジア共通の価値観形成と次世代の中核的人材育成を目指し、深い伝統的な教養をもったアジアクラット(アジアの共通善に資する地域行政、民間組織の指導者)、地域医療をリードする医療人、3国の協業をリードできる企業中堅幹部候補等の輩出を目指す。同時に、東アジアの共通教育システムの構築を目指す。

■ プログラムの目的・養成する人材像

アジアを舞台に活躍できる地域人、企業人とアジアクラットの育成

国際的な視野を持ちながら、同時に地域の文化に精通したアジアクラット、医療、環境、エネルギー、循環型社会の構築などの領域でリーダーシップのとれる人材、技術開発、生産、販売のすべて面で3国の協業をリードできる企業中堅幹部候補を育成する。

〈吉林大学での国際シンポジウム〉



■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成

1 東アジア共通の教育体系確立

海外出張講義、3国共通講義、共同ワークショップ(人文・社会系、教育系)の充実を通じて教育方法を相互に調整・改善し、最終的には東アジア共通の教育体系の確立を目指す。また、大学院教育において英語のみによる教育科目を新たに開設する(自然科学系)。さらに、ダブルディグリー、ジョイントディグリー制度を導入し、派遣先大学の指導のみに依存せず、複数大学による共同指導を実質化して教育の高度化を図る。

2 課題解決型の人材育成

価値観、文化の相違を越えて、日中韓で共同でプロジェクトを実現できる、また共通善の実現に貢献できる人材を育成するため、3国の学生が一堂に会し議論するセミナーを設ける。また、日中韓に共通する課題(少子高齢化、環境問題、医療、省エネの技術開発や社会システムの開発、文化共生、循環型社会)に対応した課題解決型の演習、地域の自治体や企業との協働教育プログラムを取り入れる。

3 成績管理、単位の相互認定制度

共通教育を検討する委員会を設け、評価方法や講義の内容、単位の相互認定に関し「ラーニングアグリメント」を締結する。さらに、ピアレビュー制度を導入し、授業の質を高めると同時に、相互に教育の経験を交換する。

〈ダブルディグリー協定締結〉



■ 教育内容の可視化・成果の普及

国際コンソーシアム評議会による評価制度

透明性、客観性の高い厳格な成績管理(コースワークを重視したカリキュラムの構成、GPAの導入や教員間の相互チェックなど)で先進的な取り組みをしている岡山大学の授業評価システムを基礎に、日中韓共通の評価システムを構築する。また、欧米の教育有識者を含む国際コンソーシアム評議会により、質の保証が実質的なものになっているかを定期的にチェックする。

■ 日本人学生の派遣・留学生の受入を促進するための環境整備

1 日本人留学生の送り出し

吉林大学、成均館大学校に岡山大学のランチオフィスを置き、研究テーマのマッチング、留学手続きなどがスムーズに行われるよう支援する。また、留学予定者に対する外国語教育を強化する。

2 中国人、韓国人留学生の受け入れ

吉林大学、成均館大学校の岡山大学ランチオフィスでワンストップサービスを実現する。また、3校間で利用できるe-learningシステムを構築する。岡山大学内では、チューター制度、ランゲージカフェを通じたサポート体制を充実させる。

■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

○ 日本人学生の派遣

岡山大学からは、毎年吉林大学、成均館大学校に長期(1年)各5名、ジョイント・サマーセミナー各15名を含む69名の院生、学生を派遣する。

○ 外国人留学生の受け入れ

吉林大学、成均館大学校からは、毎年長期(1年)各5名、ジョイント・サマーセミナー各15名を含む67名の院生、学生を受け入れる。

	H23	H24	H25	H26	H27
学生の派遣	20	69	69	69	69
学生の受入	12	67	67	67	67